

物流の取り次ぎ、輸出入代行業を手掛けるタクリュウグローバル（岸上徹也代表）はこのほど、インドネシア向け焼酎、ウイスキーの輸送・販売サービスで2月下旬配達分の受注を開始した。インドネシアの日本人駐在員などに日本の焼酎とウイスキー計6銘柄を食品保存用の一斗缶（容量18ℓ）で配達する。

## 日本の焼酎とウイスキー インドネシアの駐在員に

る。注文のキャンセル、変更は14日以降は原則不可。インドネシアでは酒類の輸入、販売規制が厳しく、特にアルコール度数の高い焼酎やウイスキーの流通量は限られるが、駐在員など現地に住む日本人のニーズは強い。そこで、タクリュウは現地の飲食店などに食品や酒類を販売する卸売業者と提携し、業務用の焼酎とウイスキーを輸送、販売する。既に12月到着分からサービスを始めている。

今回注文を受け付ける銘柄は「黒霧島」「赤霧島」「一本勝ち」「いいいちご」「角瓶」「トリス」。これ以外にも対応可能な場合がある。価格は1缶当たり6万3000円〜7万5000円で、商品代金、輸送・配達費、輸入税などが全て含まれる。注文の締め切りは12月13日。60缶を上限に受け付け

までの所要日数は約3カ月。受注後に提携卸へ商品が発注し、インドネシア税関に事前輸入申請を実施。輸入承認後、商品をインドネシアに海上輸送して税関に本申告を行い、輸入許可を受けて提携卸の倉庫に搬入する。倉庫での検品後、指定住所に配達し、発注者には受領書を含め配達完了の案内を

送る。タクリュウは今年6月、ペガサスグローバルエクスプレスで中部支店長などを務めた岸上代表が創業。兵庫県を本拠に浜松にも支店を置く。荷主の物流ニーズと国内外の提携物流会社をマッチングさせることで、荷主の物流課題の解決と物流会社の営業を支援している。

提供しており、今後の仕向地拡大も検討している。

載輸送サービスを実施している。メキシコシティとグアハラハラ向けでほぼ毎日

### 近鉄エクス11月航空輸出混載

23%増の1万1700トン 好調継続

近鉄エクスプレスの11月の日本発航空輸出混載重量

電子電機関連のアジア向け

25%増、19%増と2割前後の増加だった。東南アジアはインドネシアのみ35%減と前年を下回ったが、その他の仕向地は総じて2桁以上の増加。シンガポールが58%増、タイ19%増、マレーシア33%増、フィリピン12%増。インドも37%増と好調だった。

ルクスが36%減、英国17%減、「その他ヨーロッパ地区」52%減と落ち込みが見られた。フランスは化成品の取り扱いで海上からのシフトがあつて18%増。同月の航空輸送通関件数は前年同月比3・6%増の2万7443件で4カ月連続の前年超えだった。

送事業者様

力パートナー誕生

クラウドサービス

